

ご挨拶



一般財団法人 全国中小企業共済財団

理事長 菊池 弘

皆様には、日頃より当財団の業務活動に格別のご高配を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

当財団は昭和30年代から中小企業問題の解決を畢生の事業として取り組んでおられた故鮎川義介氏(創設者・初代理事長)が、当時の中小企業団体代表者や全国の中小企業事業主の方々から経営の安定化や従業員の福利厚生の充実を図るための共済制度を望む多くの声に後押しされて、昭和41年3月に設立されました。爾来、共済制度を通じて中小企業従事者の福祉の増進と中小企業の振興に寄与すること、さらには、中小企業団体の組織強化に貢献することを基本理念として、今日に至っております。

令和6年5月10日に閣議決定された中小企業白書・小規模企業白書によれば、中小企業と小規模事業者は、新型コロナウイルス感染症による落ち込みから回復しつつあるものの、人手不足の深刻化に直面しています。成長している中小企業を対象とした分析においては、人材への投資の重要性が強調されています。「事業は人なり」という言葉が示す通り、企業を発展させるのは人であることを痛感しております。

こうした社会情勢のなかで、当財団は、これまで以上に加盟中小企業団体との連携を密にし、中小企業の事業主・従業員の保障や健康、並びに、中小企業団体が個々に抱えている中小企業団体固有のリスクに対する様々な賠償共済保険を企画・立案して参ります。社会に貢献できる共済事業をより一層展開することで、所期の目標達成に向けて邁進する所存でございます。

皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。